

★高岡教区仏教婦人会連盟新年会開催

一月二十八日、高岡教区仏教婦人会連盟の新年会が開催された。当日はご来賓を迎え、会員五十五名が参加した。新しい年のはじまりにあたり、久しぶりに顔を合わせる機会となり、会場には和やかな雰囲気広がった。

余興には、八尾町の浄土真宗本願寺派聞名寺「風の盆講中」の皆さまを招き、「おわら踊り」をご披露された。地方（じかた）による生演奏が会場に静かに響くなか、情緒あふれる踊りが繰り広げられ、参加者はその優雅な所作と音色に目を奪われた。終盤には輪踊りも行

われ、会場全体が一体となり、自然と笑顔があふれるひとときとなった。

その後のお楽しみ抽選会では、仏婦会員手作りの作品をはじめ、心のこもった品々が並び、終始和やかな雰囲気のうちに新年会が進んだ。

限られた時間ではあったが、食事を共



にしながら語らいのひとときを過ごすなかで、会員相互の親睦を深める貴重な機会となった。

◇支援班活動中間報告

〈災害救援活動専門委員会〉

一昨年度（二〇二四年度）、教区報にてボランティア募集を行い、二月二十七日に仏教婦人会連盟中心で炊き出しを、三月十七日には寺族青年会中心で輪島市門前町道下にある道下第二団地集会所にて居酒屋を行いました。

昨年度（二〇二五年度）は、道下第二団地集会所にて、

①四月六日 ②五月十六日
 ③六月十五日 ④六月二十八日
 ⑤八月二十九日 ⑥九月二十二日
 ⑦十一月十八日 ⑧十二月二十五日
 と月一回程度支援活動を行いました。支援活動にかかる経費の今年度現況は四十一万七千三円を支出し、一回の支援活動参加者は十五名〜二十名程度となっております。

①と③では蕎麦とおにぎり②ではカレーライスと春雨中華サラダ④では高岡龍谷高校クリエイトフードコースが中心となり、教員・生徒約二十八名の参加で「釜揚げうどんを野菜の煮びたしとともに」の炊き出しを行いました。

⑤と⑥では茶話会と夏野菜及び季節の果物やふりかけの配布を行いました。特に⑤の茶話会では安芸教区と山陰教区の寺族青年より雅楽の演奏を披露していただき、和やかな時間を被災者の方と過ごすことができ、心の距離が縮まったのではと思います。

⑦では、教区内の皆さまより協力をいただき、支援米を二キロに分けて三五〇袋を用意し、これまでの道下第二団地だけでなく第一・第三団地に仏教婦人会連盟が被災者に向けて書いた手紙を添えて支援米を提供しました。

①から⑦までの活動を行った中で、今後に向けた話し合いを⑧で行い、団地に居住されている方の声を聞かせていただきました。その中で感謝と不公平感があるということ学び、これまで以上に支援活動に際しては、細やかな対応が必要であるとともに、毎回行っている道下第二団地集会所では、和やかな時間を過ごし距離感が近いと感じます。また、道下にスパー「とうげマルシェ」が新たにオープンするなど、現地に少しずつ変化が見られます。今後、支援活動場所を拡げていくことが求められていく中、現場の状況を見極めながら対応を考えていくことが大事であると考えます。

(事務局報告)

★第二連区青年布教使研修会開催

二月九日から十日にかけて富山別院にて第二連区青年布教使研修会が開催されました。この度開催された研修会では、「自灯明・法灯明」という仏教の根本指針をテーマに、カードを用いた形式のディスカッション、およびご講師による総括の講義が行われました。

今回の研修においては、カードに記された「日常のさまざまな困難な状況」などに対し、布教使として、あるいは一人の僧侶としてどう向き合うべきかを各々に問うような内容でした。カードに描かれた人間関係の葛藤や予期せぬ困難といった具体的な場面を前に、「自分ならどう対応するか」を巡って活発な意見交換がなされました。自身の感情に振り回されそうになる状況の中で、いかに法を抛り所として向き合うか。このディスカッション形式のグループワークでは、まさに法に照らされた「私」を自覚する貴重な体験となりました。

二日目には、四夷法頭氏（相愛大学講師・兵庫県信行寺住職）と田中信勝氏（布教団連合同朋研修講師）を講師としてお迎えし、まとめの講義をいただきました。

四夷先生からは、自分の正しさを信じるのではなく、仏の教えに照らされて、自分の不確かさを自覚しながら歩む生き方の大切さを学ばせていただいたように思います。現場の実践に即した「法を伝える者の姿勢」について深くお示しいただきました。お二人の講義を通じて、初日のワークショップで得た気づきが整理され、参加者一同、学びを一層深めることができたように思います。

「自灯明」とは、単なる自己信頼ではなく、法に照らされて初めて成立するものではないでしょうか。この研修で得た姿勢を大切に、私たち青年布教使は、複雑な現代社会を歩む中で、ますます、確かな灯火を抛り所とした生き方をせねばならないと学ばせていただきました。

水波組西養寺 村上 昂文

◇御同朋の社会をめざす運動のコーナー

第2回「御同朋の社会をめざす運動」中央委員会報告

去る一月二十三日、今年度二回目の中央委員会が開催されました。当日は大雪による列車の運行停止が発生し、急遽、オンラインでの参加となりました。これまでと違って、午後から午前に変更、会議時間の短縮、更にはそもそも天候不順が懸念されるこの時期に前倒しての開催であり、運動を軽視しているのではないかと思わざるを得ませんでした。

会議ではまず、①重点プロジェクト等の現状について、②二〇二五年度第二回常任委員会の協議結果、について担当部長より報告がなされ、続く協議の部では、次期第六期計画について、本年四月以降に試案が示され来年夏までに決定するというタイムスケジュールの説明があり、続いて、今回、高岡を含め三教区の意見具申について議題とされました。(高岡教区の意見具申は別紙参照)

新潟教区が提出した意見、「部落差別をはじめとするさまざまな人権問題に関する教団内の意識調査を求めます」に対しては、社会部人権担当部長より、現在、本年六月に実施される宗勢基本調査において人権に関わる設問を行う事が検討されていると報告がありました。それに対して新潟の中央委員からは「単に部分的なものではなく、実態的な全宗門的な調査を」と再要望があり、私からは新潟の意見に賛意を示すとともに次期運動計画のなかで位置づけて頂くように要望させて頂きました。

福岡教区の意見「三十年前の『戦後問題検討委員会』における『教団の今日的課題 八項目』は、現在に至るまでなお課題として残されている。特に戦前の『聖徳太子と七高僧の尊像安置』をめぐる『達示』失効についての周知が充分なされていない」(主意)について

は今後の具体的課題として意見が交わされました。

高岡教区の意見「門徒推進員中央教修の従来通りの開催と、永続的な実施に向けた財源確保のための検討を求めます」については、まず教化部門信徒担当部長より、パンデミック以降の中央教修の募集に対して申込人数が回復していない実情などの説明がなされました。それに対して中央教修の僧侶スタッフでもある中央委員数名から、廃止されたりモート開催の意義や、現状の財的脆弱性を訴える発言が続きました。私からはご門徒からのご懇志を還元していくという趣旨での中央教修の重要性和、一方で宗派財政に左右されない安定的実施や人件費の拡充を念頭にしたクラウドファンディングなどを宗派で検討して頂くよう、重ねて要望させて頂きました。

今回、感じたのは総局の運動に対する様々に「後ろ向き」とも思える姿勢に対する、現場からの戸惑いや叱咤激励とも思える「声」が多かったことです。それは、「意見具申」が複数の教区から出た事にも表れていましたし、そもそも「教団は何のため、誰のために存在するのか?」という根源的な問いを含んでいたのではないかと感じられました。

既に新年度の宗派予算が超緊縮財政に向かうことがアナウンスされ、運動だけではなく教団全体が様々に委縮していくことが予想されています。「貧すれば鈍する」ことにならないよう、さらにはそれぞれの教区や組、寺院においても「これから何を大切に活動していくのか」という本質的な問題に向き合っていかなければならない事を強く感じたことです。

【高岡教区委員会副委員長 濱野信宏】

◇これからの日程（2/14～3/30）◇

2月	教区・財団行事	教化団体・組行事
14	常例法座	
16	聖典セミナー	
17	常備会	水波組実践運動研修会
18		矯正教化打合せ会 (web)
		関野組実践運動研修会
		寺青役員会
20		ビハーラ連絡協議会 (web)
		教材情報委員会
24	宗務役職者研修 (web)	仏婦広報打合
		コーラス (午前)
25		浄青僧本山総参拝 (~26日)
26		子ども・若者ご縁づくり推進委員会
		4B総代会研修会
27	組主幹会議	教学研究室
3月		
2		3B総代会研修会
3		少年連盟連絡協議会 (岐阜～4日)
5		念仏者九条の会全国集会
		仏壮理事会
6		講社役員会
		1B総代会研修会
7		仏婦女性のつどい
10		コーラス (午後)
		寺女委員会
		布教団常任委員会
11		布教団総会
		2B総代会研修会
12	常備会	
13	常任委員会	少年連盟指導者研修会
14	常例法座	
17	聖典セミナー	
18		仏婦常任単位会
19		門推代表者協議会
		第2回ビハーラ公開講座
23	財団理事会	
	財団評議員会	
24		コーラス (午前)
25		布教団研修会
26	教区委員全体会	
30	教区会	

ラジオ放送～西本願寺の時間～

『みほとけとともに』

北日本放送 (KNB)・73.8kHz.

□第2・4日曜日 (富山・高岡制作) 午前6:00～6:10

●3月8日 (日)

未 定

(富山教区)

●3月22日 (日)

未 定

(富山教区)

※高岡教区及び富山教区が主催し、北日本放送 (KNB)にて毎週日曜日午前6時から放送しております。「西本願寺の時間」は、放送を継続しております。

また、西本願寺では、動画配信サイトを設置し話等を配信しております。ご視聴ください。

<https://broadcast.hongwanji.or.jp/>



【西本願寺高岡会館3月の常例法座】

ご講師： **青雲乗英師**

(射水組光覚寺)

ご講題：『 **未 定** 』

午後1時20分頃からビデオ上映、2時からお正信偈六首引のお勤めです。どうぞお誘いあわせてお参りください。

『法輪せんべい』のお申込はこちら →
高岡教務所内(寺族青年会担当)

